

5

その他の事業・検査

受診団体の依頼等により、下記の事業及び検査を実施した。

1-1 インターネットを利用した集団健診申込受付の実施

インターネットを利用した集団健診申込受付は、健診対象の全市民が24時間スマートフォンやパソコンから「いつでも・どこでも」健診申込を可能とするものである。

インターネットを利用した申込の割合は下表のとおりであった。また、年代別で見ると、30歳から50歳代の割合が高く、時間帯としては、閉庁時間帯における申込割合が高かった。

表1 インターネットを利用した健診申込状況

受診日 優先予約	健診 申込数	事前に予約された 予約日のまま受診 した人数 (%)	インターネット利用 での申込数 (%)	インターネット申込の内 閉庁時間帯の申込数 (%)
栃木市	17,147	-	7,244 (42.2)	4,210 (58.1)
下野市	7,703	-	4,630 (60.1)	2,818 (60.8)
鹿沼市	9,465	-	3,730 (39.4)	2,235 (59.9)
大田原市	13,021	-	4,871 (37.4)	2,899 (59.5)
那須烏山市	3,909	-	1,447 (37.0)	850 (58.7)
芳賀町 ○	3,924	2,012 (86.8)	497 (12.7)*	327 (65.8)
野木町	3,895	-	1,712 (44.0)	925 (54.0)
矢板市 ○	6,284	3,456 (86.6)	840 (13.4)*	543 (64.6)
塩谷町 ○	3,479	1,939 (76.4)	227 (6.5)*	155 (68.3)
小山市 ○	18,334	9,245 (83.7)	3,048 (16.6)*	1,804 (59.2)
さくら市 ○	8,965	4,090 (80.3)	1,911 (21.3)*	1,167 (61.1)

*芳賀町、矢板市、塩谷町、小山市及びさくら市は、前年度受診者に受診予約日の決定通知を送付（受診日優先予約）しており、受診予約日の変更または、新規申込者のみインターネットを利用している。

1-2 コールセンターを利用した集団健診申込受付の実施

インターネットを利用した申込方式に併せ、集団健診の電話予約受付業務を当事業団が代行するコールセンター事業を平成30年度健診申込分から開始した。

専用電話回線を期間限定で開設し、県内の専門業者と連携しながら専門のオペレーターが電話による予約受付を行った。

表2 コールセンターを利用した健診申込状況

	コールセンター開設中の 健診申込総数	健診申込数内の コールセンター利用での 申込数 (%)	健診申込数内の インターネット利用での 申込数 (%)
大田原市（3日間）	1,562	1,102 (70.6)	460 (29.4)
矢板市（3日間）	132	94 (71.2)	38 (28.8)
小山市（平日15日間）	2,693	1,161 (43.1)	1,532 (56.9)
さくら市（7日間）	568	425 (74.8)	143 (25.2)

2 特定健診・若年健康診査の二次検診実施【大田原市】

健康課題である循環器病及び糖尿病等の予防可能な生活習慣病を早期発見、早期介入することを目的に、平成25年度から下表のとおり特定健診・若年健康診査の二次検診を実施している。

「自分のからだをもっと知る自分探しの二次検診」として、市の全額負担により令和6年9月から令和7年2月の期間に37名の検診を実施した。

	内 容	目 的
75 g 糖負荷検査 (インスリン測定を含む)	血液検査 (4回採血*)	隠れ糖尿病(リスクの度合い)の発見
頸動脈超音波検査	超音波検査	早期の動脈硬化による血管変化 (血管の厚さやプラーク)の把握
微量アルブミン尿検査	尿検査	早期の腎機能の変化(傷み具合)の把握

*空腹時・30分・60分・120分

3 風しんの追加的対策における風しん抗体検査の実施

平成31(2019)年4月1日から国の「風しんに関する追加的対策」が実施され、これに伴い当事業においても集合契約に係る風しん抗体検査の実施体制を整備している。

実施団体数：15市町、受診者数：190名

4 「推定1日食塩摂取量」検査の実施【塩谷町】

高血圧者に対する保健指導等をより効果的に行うことを目的として、令和3年度から特定健康診査・健康診査の受診者全員を対象に、「推定1日食塩摂取量」の検査を実施した。

特定健康診査等の受診に併せて、追加の採尿を行い、推定1日食塩摂取量の算出方法については、「高血圧治療ガイドライン2019」を参考とした。

実施日数：14日、受診者：1,392名